

開成町議会研修レポート

開成町議会は独自のホームページを設立しており、各議員の自己紹介や、委員会紹介、一般質問前後の質問者インタビューなど動画配信にも力を入れている。紙（広報誌）と動画を2つで一つにし、読むことよりも見ることで情報を得られるように、時代に合わせた発信をしている。

しかし、年齢3区分別人口の割合を見たとき、開成町は①年少人口(0~14 歳)14.8%、②生産年齢人口(15~64 歳)59.1%、高齢人口(65 歳~)26.1%であり、当町は①9.7%②48.6%③41.7%であるため、開成町で学んだことを当町の状況に合うように落とし込む必要がある。

1、動画の活用

モニター会議でも提案があったように、特に若い世代は議員を知らない人が多い。選挙ポスターを見ても、その人がどんな人なのかわからないのだ。スーツを着ていると、どうしてもありきたりなことしか言わなくなる。プライベートではどんな姿なのかなど、さまざまな角度から自己紹介をすることで議員に興味を持ってもらえると考えます。SNS が発展している今だからこそ、動画は若い世代にとって大変身近なツールである。まずは、プロフィール動画からチャレンジしてみてはどうか。

例) 各自 1 分以内で動画撮影。できない人は委員がサポート。委員会、議長、議運で確認し、全協で報告後 youtube にアップ。議会だより裏表紙に「各委員のプロフィール動画配信中 QR コード」で動線確保。

2、議場の活用

じげんプラザ一階の座談室は、日頃から小中学生が自習をしたり、ゲームで遊んだり活用されている。長期休み期間議場を自習室として解放したり、学校の授業、議場ツアーの開催など、若い世代に「じげんプラザの入ったことない部屋」に足を踏み入れてもらう機会を作れないだろうか。幼い頃の体験は、大人になったとき役立つことが多い。未来の有権者育成につながると考える。

例) ・教育委員会と意見交換の場を設け、執行部側と議場の活用について考える。

・夏休み期間に、議場解放や、議場ツアーを開催する。

議員名 3 番 荒川 佳一

【研修を通しての気づいたこと】

開成町の面積は約 40 分の 1、人口は約 1 万 8 千人と会津美里町とほぼ同じ人口となっているが、毎年的人口が右肩上がりで増加していることが特徴である。また、住民は議会に対する関心が高く、議会の傍聴者も多い。さらには、日曜議会を開催し、働いている人にも対応することで身近に感じられる議会になっている。

【気づきからの考察】

「議会だより」を手にとっていただくことが大ごとだと思い、表紙のテーマに力を入れることを考えていたが、「議会だより」を通して議員に関心を持っていただくことも必要である。今後、タブレットなどを活用して動画での議員紹介などを配信することも大切である。

このオンラインによる研修を生かし、町民にとって議会が身近に感じられるよう、開かれた議会を目指し、多くの方にしっかりと伝わる広報にしたい。

* 報告の様式については任意です

* 研修報告内容については、町議会のホームページ等での公表を前提としています

令和7年3月3日

会津美里町議会議長 大竹 惣 様

広報広聴常任委員会委員 山内 豪

研 修 報 告 書

広報広聴常任委員会研修について、下記のとおり報告します。

記

1 日 時 令和7年2月6日（木）

2 研修先 神奈川県開成町議会

3 報告事項

新しい取り組みを進んで行なっている開成町から学び、我々にできることは何か探り出すことを目的としてオンライン研修を行った。

今回の研修開催においても、オンライン研修は未経験とのところ、是非やってみましょう！と受け入れてくださり、新しいことへの抵抗がない姿勢が伺えた。

主に、議会ホームページの設立、紙に書いてある文字を読む→動画で見るへの移行、議場の活用について伺った。

議員の自己紹介動画であれば、我々にもできるかもしれないと思う。

また、オンライン研修は時間や場所に縛りがなく、大変有意義なものになることがわかったので、今後もこの手段を活用すべきと考える。

令和 7 年 3 月 3 日

会津美里町議会議長 大竹 惣 様

会津美里町議会広報広聴常任委員会委員 長嶺一也

オンライン研修報告書

本委員会オンライン研修について、下記のとおり報告します。

記

- 1 開催日時場所 令和 7 年 2 月 6 日（木）13:30～15:20 議会常任委員会室
- 2 視調査研修先 神奈川県開成町
- 3 報告事項

【研修受講による気づき】

- (1) 「読む」から「見る＝魅せる」への変革
 - ・「議会活動の発信を迅速に」を常に念頭に置いた取組
 - ・動画の多用
 - ・子供向けのホームページ
- (2) インパクトのある動画
 - ・字体の工夫（引き付けるフォントと動く文字）、議員の表情
 - ・短い動画から誘導するテクニック
 - ・2クリックで得たい情報にたどり着くストレスフリー
- (3) 取組を進める上でのコンセプト
 - ・広報が、議会活動が「議員」ではなく「議会」活動として、町民目線での発信となっているか。
 - ・幅広い世代に議会に関心を寄せていただく取組みとなっているか。
 - ・「今」の取組が時世に合わない場合は、見直す勇気も必要。
- (4) その他
 - ・議員 12 名全員が広報広聴常任委員会に属し、同じベクトルに向かって広報広聴に取組んでいると感じた。
 - ・小学校での出前授業で議会の説明
 - ・中学生以上に対する自習のための議場開放

【本町議会にも取り入れ可能な変革（私案）】

- (1) 変革のコンセプト
 - ・議会を身近に。町民の関心を引き付ける！
- (2) ホームページの見直し。
 - ・一気に動画は難しいと思うので、写真（回転や装飾）や写真に重ねる文字をズームアップしたり、文字のフォントを工夫（影付き文字、輪郭文字、反射文字、斜めの単語など）したりする。さらには画像や文字のスライドショー。
 - ・議員の笑顔ある生き生きとした写真を採用する。

神奈川県開成町オンライン研修での考察

- 1, 議会基本条例に基づき、議会改革に取り組み、議会が変われば町当局や町民の意識も変わることがわかった。
 - 2, 令和2年度にタブレット運用をしたことによって、動画配信や議会報告会、議会広報作成に活用していて、本町でもこのようになればよいと思いました。広報を「読むから」見るに改革を行い、議会独自のウェブサイト開設をして、活用していることは大変すばらしいと考えました。
 - 3, 議員の自己意識の改革と向上心を常に持ち続け、活動している姿が見られました。本町議会もこうであってほしいと感じました。今回の研修は自分の今後の議員活動をするうえで、参考となりました。
- 以上、研修の報告とします。

令和7年2月21日

会津美里町議会議長 大竹 惣 様

広報広聴常任委員会委員 10 番 堤 信也

研 修 報 告 書

神奈川県開成町議会オンライン研修会に出席しましたので、下記のとおり報告します。

記

- 1 日 時 令和7年2月6日（木）午後1時30分～午後3時
- 2 場 所 本庁舎常任委員会室
- 3 報告事項

議会の広報広聴常任委員会の先進地研修「議会改革の手始めとして広報改革」を行った神奈川県開成町とのオンライン研修に参加して。既存の議会だよりに違和感を持っていてリニューアルの先駆者として令和3年に異動してきた議会事務局の佐藤さんが初仕事として、議会だよりの校正を変えた勇気が素晴らしい。早速、次の号からリニューアルに着手し改善策を反映させたのがきっかけであると同った。そして、その提案をすぐに実行する議会も素晴らしい適応力である。普通であればなかなか進まないであろう事案が半年程度でWEBサイトの制作まで波及させ、事務局からの提案を受け入れ議会で討議してやってみようという議員の意欲も素晴らしい結果を導き出している。

今回の研修において残念ながら基礎を作った事務局の佐藤さんから意見をいただくことが出来なかった件については悔いが残ったが、広報改革により議会改革に繋がって開成町議会がより良い方向に向かっているのが感じられた。

遅ればせながら我が町議会もタブレットの導入に向かっている。タブレット導入により議会改革も進んでいくのだろうと考える。今後も他自治体の良いところ取りをしながらも議会だよりの変革に携われればと感じたところです。

以 上

開成町議会オンライン研修会報告

令和7年2月6日 於 常任委員会室

12番 横山 知世志

より多くの町民に読んでいただき意識は、こちらと同じ考えであると認識した。紙面については確かに良い意味で異色であり、読者の目を引き付けるには大変優れていると感じました。きっかけを作った事務局員の提案は大きかったのだろうと評価したい。議会そのものが活発に活動していることがうかがえる。今のわが町議会広報もそれに近くなってきていることは言えるのではないだろうか。

日曜議会・夜間議会も必要かと思うが、以前実施した日曜議会では傍聴者も少なく効果はなかったが、継続してやることが大事かと思う。それと同時に小中学校を対象とした模擬議会の方が、より効果的で傍聴もあるのではないかと思う。地域意見交換会や部門別交換会を充実させていく必要があるのではないか。

広報を通して町民とのふれあいを高めていくことで、議会がもっと身近に感じられるようにしていきたい。若い方の意見を大切にしながら、議会改革をして行くよう心掛けたい。

令和 7 年 2 月 21 日

「開成町議会広報公聴常任委員会オンライン研修会」報告書

根本 謙一

【次年度において参考調査検討事項】

1. 議会議員定数の減数による広報公聴常任委員会の構成と在り方について
2. 議会HP、ウェブサイトの設置について
3. 日曜議会の開催について

（一般質問時間の短縮による通告者全員を消化する方策をとり、残余の時間分は二日目に消化する。執行部との十分な調整が必須等）

4. 過去に数回実施した子ども議会の開催及び小中学校への出前講座について

【今後の長期的調査検討事項】

1. タブレット利活用によるウェブサイト動画配信について
2. ユーチューブによるタイムリーな議会情報のリアルタイム発信について
3. 印刷製本費の削減効果があったA4判からタブロイド判への転換と意義について

【考 察】

現議会議員の任期が本年11月12日までであることから、精選された検討事項等が新年度においてどこまで調査研究が進むかは不明な点ではあるが、「次の新議会への申し送り事項」の形で議会改革の一端を担う広報公聴常任委員会としての継続性を担保していくことはとても重要だと考える。この度のオンライン研修においても、リーダーシップの発揮と事務局との一体的な取り組みを確認できた。次に繋げていける意味において、この機の研修として大変に有意義であった。